

武蔵野市の被害想定について

東京都防災会議は東日本大震災を踏まえ、客観的なデータや最新の科学的知見に基づき被害想定の見直しを行い、「首都直下地震等による東京の被害想定」を平成24年4月に公表した。

この被害想定結果を踏まえ、首都直下地震への備えをより確かなものとしていくことが必要であり、想定結果に示された武蔵野市の被害想定を指標として、地域防災計画の充足を図るものである。

なお、平成24年4月の公表以降新たな被害想定公表はないため、武蔵野市地域防災計画（令和4年度修正）においても、現計画と同じく下記の被害想定のもと計画を修正する。

武蔵野市地域防災計画（平成27年修正）より抜粋

【図表3-1 武蔵野市における被害想定概要】

被害項目		被害想定結果
震度		市内最大震度6強
死者数		41人
負傷者数		796人
	うち重傷者数	83人
全壊・焼失棟数		1,455棟
	焼失棟数	1,041棟
	建物倒壊棟数（全壊）	414棟
避難者数（ピーク時）		31,496人
	避難所避難者数	20,472人
	避難所以外への避難者数 （疎開者人口）	11,024人
帰宅困難者数（武蔵野市全域）		53,755人
上水道（断水率）		56.2%
下水道（管きよ被害率）		16.3%
停電率		6.7%

出典）「首都直下地震等による東京の被害想定（平成24年4月東京都防災会議公表）」

- * 死者数、負傷者数、全壊・焼失棟数は東京湾北部地震（冬の夕方18時、風速8m/秒）のケースとする（負傷者数については、死者数が最も多いケースに合わせる）
- * その他は多摩直下地震（冬の夕方18時、風速8m/秒）のケースとする